

飛躍する台湾産業



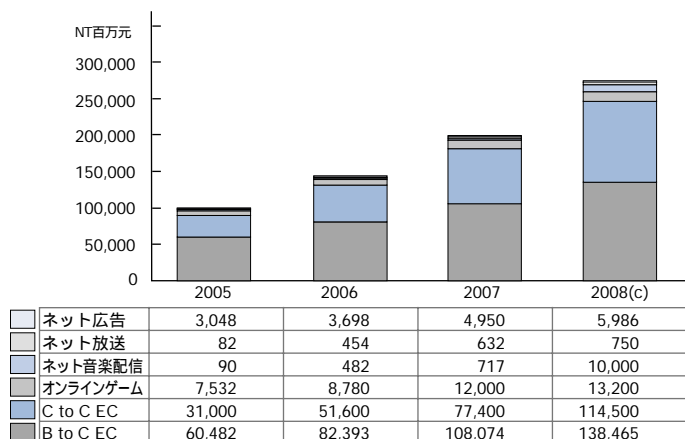
ネットビジネス市場(1)

2007年台湾国内のブロードバンド利用は470万回線を超え、第3世代の携帯電話利用は100万回線を超えた。世界的に見て台湾のインターネット普及率は高く、インターネットのサイバー空間が非常に大きなビジネスチャンスを生んでいると考えられる。今月号から台湾のインターネット産業をご紹介したい。

全体概況

本稿ではインターネット産業をオンラインショッピング(EC: B2C)、ネットオークション(EC : C2C)、オンラインゲーム、ネット音楽配信、ネット放送、ネット広告と分類する。この分類に沿うと、2005年に1,022億元だった市場規模は、2007年には2,037億元となり、2008年には2,829億元と見込まれている。この伸びを牽引しているのは主にオークションとオンラインショッピングの二つの領域である。

図1 ネットビジネス市場規模予測(2005 - 2008)



出所) 資策会MIC、数位内容産業年鑑、IAMA
 注: 2007年度のネット広告、オンラインゲームは実績、
 その他は予測値。

上記の6つの領域のうち、オンラインショッピングとネット広告については次回以降で詳細を見ていく事にするが、それ以外のオークション、オンラインゲーム、音楽配信についてここで簡単に概況に触れたい。

ネットオークションは、大手では、Yahooの「Yahoo! 奇摩 拍賣」とPC HOMEとE-bayの合併である「露天拍賣」が二大サイトといえる。

ネットオークションは、消費者間のオークションというC2Cの位置づけのほかに、オンラインショッピングというB2Cの入門編ともなっている。小規模の店舗や個人がECを手がける際に、自社サイトの構築ではなく、オークションサイトのプラットフォームを利用して出店するケースである。この割合は日本より非常に高いと言われている。

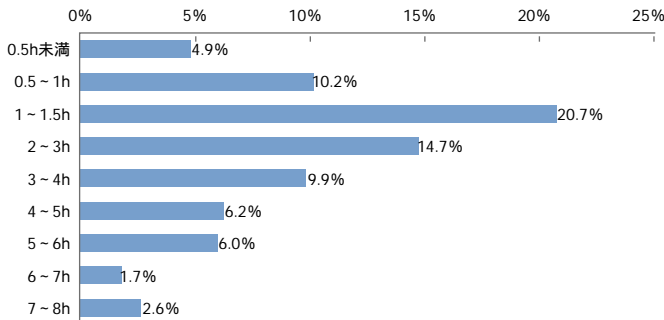
次に、エンターテインメント領域では、台湾のオンラインゲームは、2006年にヒット商品のリリース、アイテム課金システムの普及などにより市場が上向いた。一方、音楽配信では、これまで「ネット配信はタダ」という意識をユーザーが抱いていたが、オンライン配信の普及に伴い、利用者側にも有償利用を受け入れる土壌ができた。また、著作権の問題も解決し現在主要事業者が全て合法化されたことから正常なビジネス環境が整ったと言える。

ネット利用概況

次に、ネットユーザーの利用概況について紹介する。利用時間(図2)について、「1時間以上、2時間未満」の20.7%が最も多く、次は「2時間以上、3時間未満」の14.7%である。



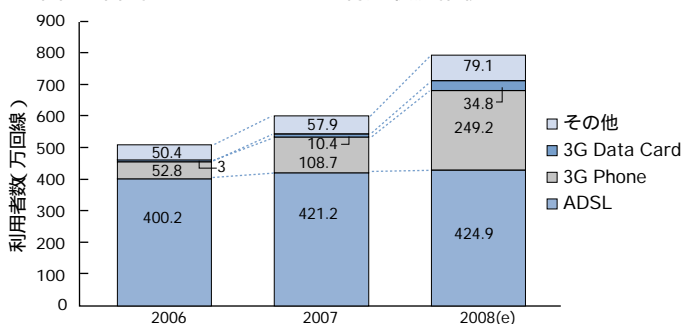
図2 ブロードバンド利用者平日平均利用時間



出所) TWNIC「97年度台湾寬頻網路使用調査報告」

国家通信委員会(National Communications Commission、以下NCC)によれば(図3) ADSLの利用は安定的に成長し、2007年は420万回線を超え、ほぼ普及したといえる。一方、日本と比較して遅れていた3Gサービスが成長期に入り、3G Phoneと3G Data Card利用が順調に増加している。3Gサービス利用は160万回線を超えた。

図3 台湾のブロードバンド利用状況推移



出所) NCC「寬頻上網帳号数」

注1: 2008年データは2008年4月までの実績を年度換算した推計値。
注2: その他にはCable Modem、PWLAN、Leased Lineが含まれる。

一方で、インターネットの利用目的(図4)は2004年時点では「ホームページ閲覧」、「Email受送信」が

多かったが、その比率は急速に低下しており、2008年1月には「情報収集」が急増し57.48%とトップに躍り出た。これはWeb2.0の広がりから、単なるサイト閲覧にとどまらない、ユーザー参加型の情報収集が急速に浸透していると考えられる。また、「オンラインゲーム」は20%以上の利用率を維持している。さらに、有償サービス利用(図5)に関して、「ネット通話」が少し減少したが、ほかのサービスに対して、料金を支払う意欲が増えている傾向がある。

図4 ブロードバンドの利用目的

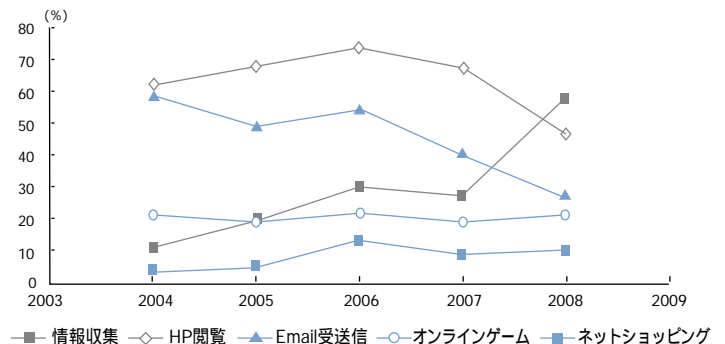
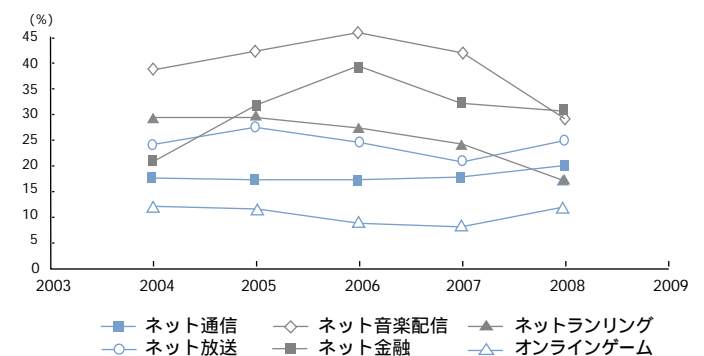


図5 各ブロードバンド有償サービスの利用意向



出所) 図4、5共にTWNIC「年度台湾寬頻網路使用調査報告」(2004~2008年)より。

注) 数字は毎年1月時点のデータ。

お詫びと訂正: 2008年3月号投資通信 vol.151の太陽電池関連産業(2)p.4右段第7、23行に「宇通光能」を「宇通光電」と誤って表記しておりました。関係者に深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正します。

(誤) 宇通光能 (正) 宇通光電